

令和5年度第2回岐阜市市政モニター
「ぎふCITYウォッチャーズ」
調査結果

テーマ

- ・ぎふベジに関する意識調査

目次

- 1 調査目的
- 2 調査期間
- 3 調査項目
- 4 回答者属性
- 5 結果の概要
- 6 項目別の結果
- 7 今後に向けて

お問い合わせ先

ぎふベジに関する意識調査（問 1～問 14）

経済部 農林課 TEL：058-214-2079／MAIL：nourin@city.gifu.gifu.jp

1 調査目的

- ① 安全・安心にこだわって生産された「ぎふベジ」や地産地消に対する意見などの調査を実施。
- ② ①の結果を参考に、ぎふベジのブランド化や地産地消を推進する取り組みの参考とする。

2 調査期間

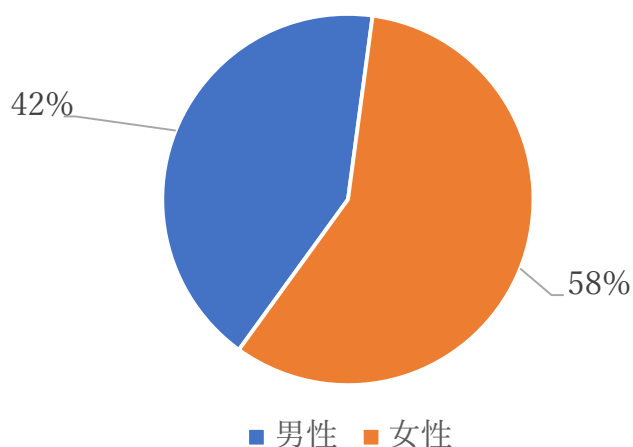
令和 5 年 8 月 11 日(金)～8 月 25 日(金)

3 調査項目

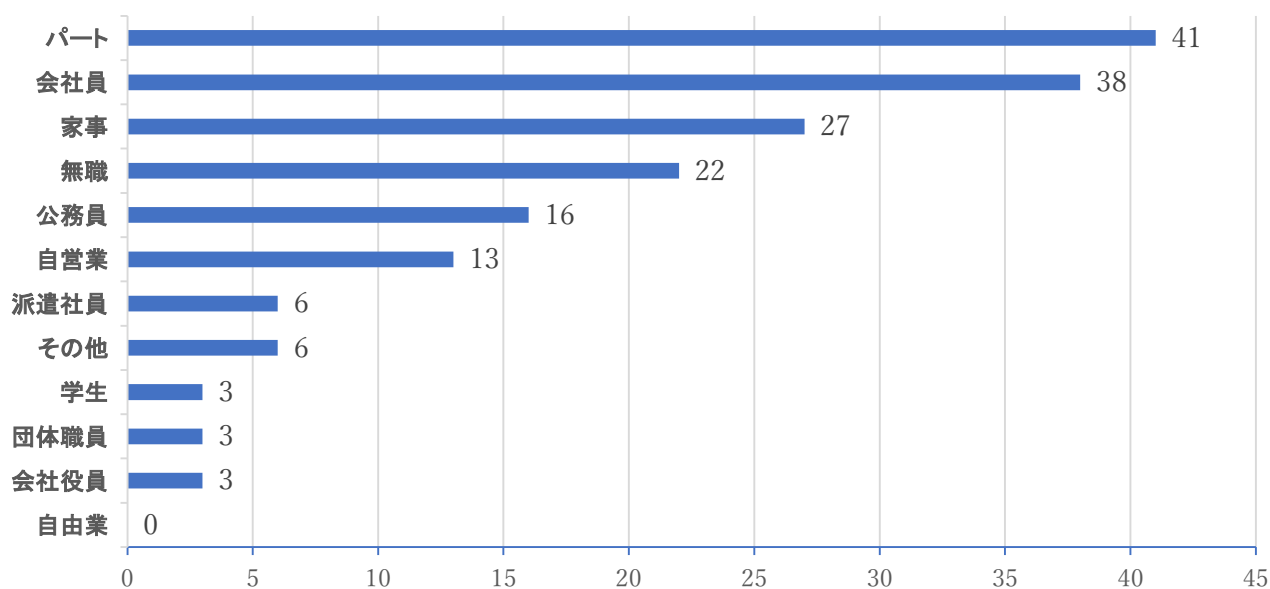
ぎふベジに関する意識調査（問 1～問 14）

4 回答者属性

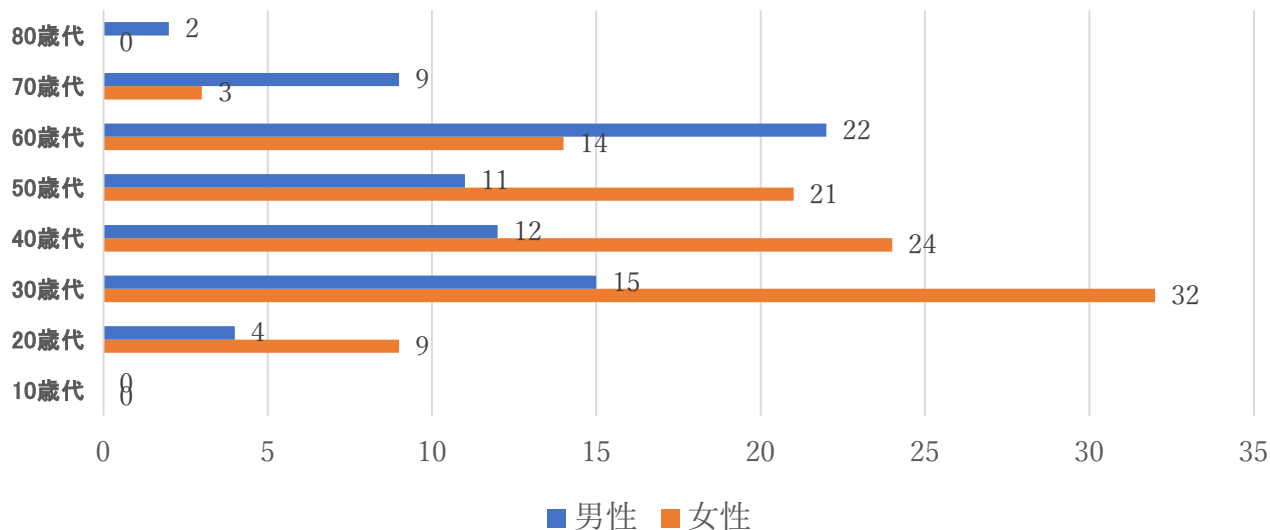
令和5年度市政モニター第2回回答者 性別別割合 n=178



令和5年度市政モニター第2回回答者 職業別割合 n=178



令和5年度市政モニター第2回回答者 年代別割合 n=178



5 結果の概要

ぎふベジに関する意識調査（問1～問14）

今回の調査において、お答えいただきましたモニターの皆様に感謝申し上げます。

「ぎふベジ」に関する調査は昨年度も実施させていただきましたが、本市における「いちご」「えだまめ」「柿」といった特産農産物の認知度は高く、同時に、市外に売り込むべき地元の誇れるものとして位置付けられていることが分かりました。

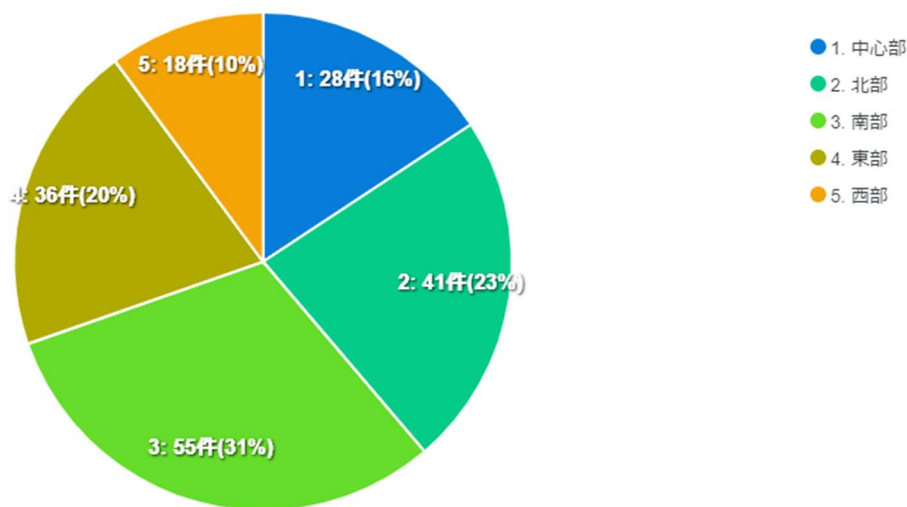
「ぎふベジ」の認知度については35%と、昨年度の37%からわずかに減少し、更なる認知度向上の取組の必要性を感じております。一方、ぎふベジの市町連携については、認知度は26%と、昨年度の18%から8ポイント上昇しました。ぎふ地産地消推進の店「ぎふ〜ど」の取り組みについては、20%と、昨年度の18%からわずかに上昇しました。

本市が取り組む特産農産物のブランド化や地産地消の推進は、一定の効果が出てきてはいるものの道半ばであり、これまでのマーケティング戦略を踏まえた効果的な施策展開が必要であると改めて認識しました。

6 項目別の結果

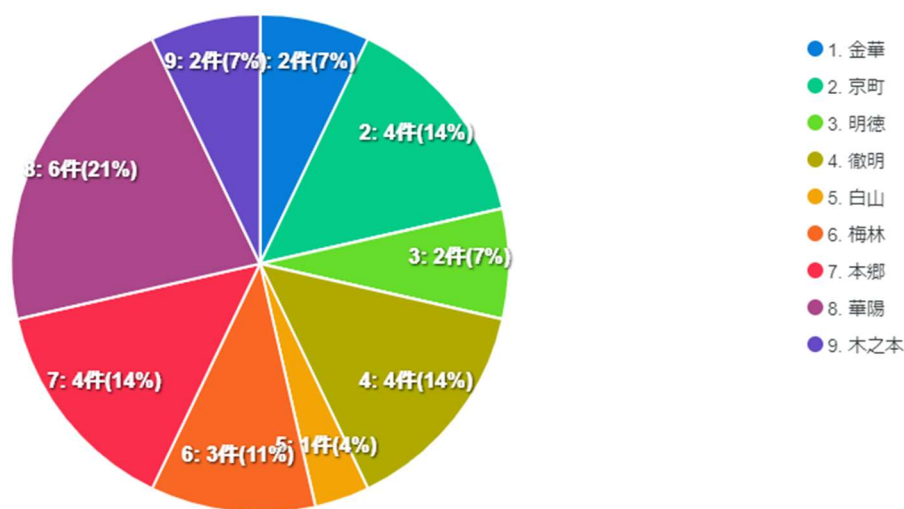
ぎふベジに関する意識調査（問1～問14）

質問1. あなたのお住まいのエリア（実際に生活されているエリア）はどちらですか？

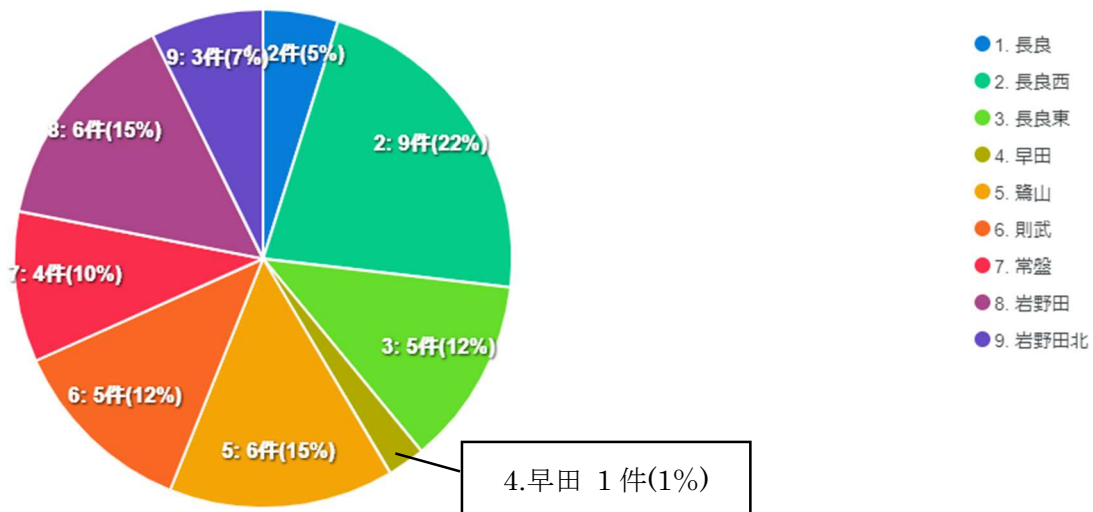


質問1-1. あなたのお住まいの地区（実際に生活されている地区）をお選びください

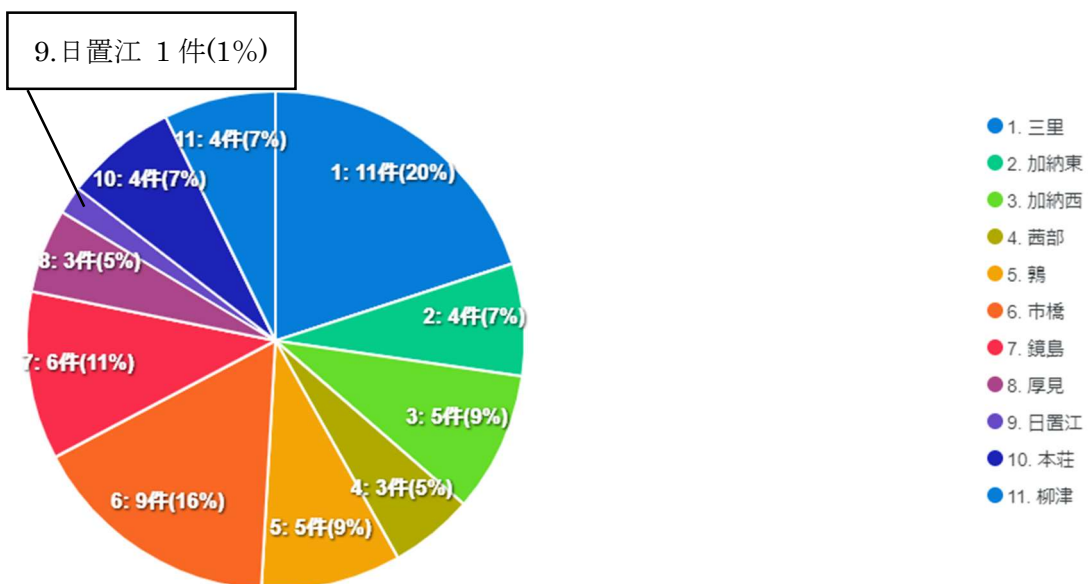
1. 中心部



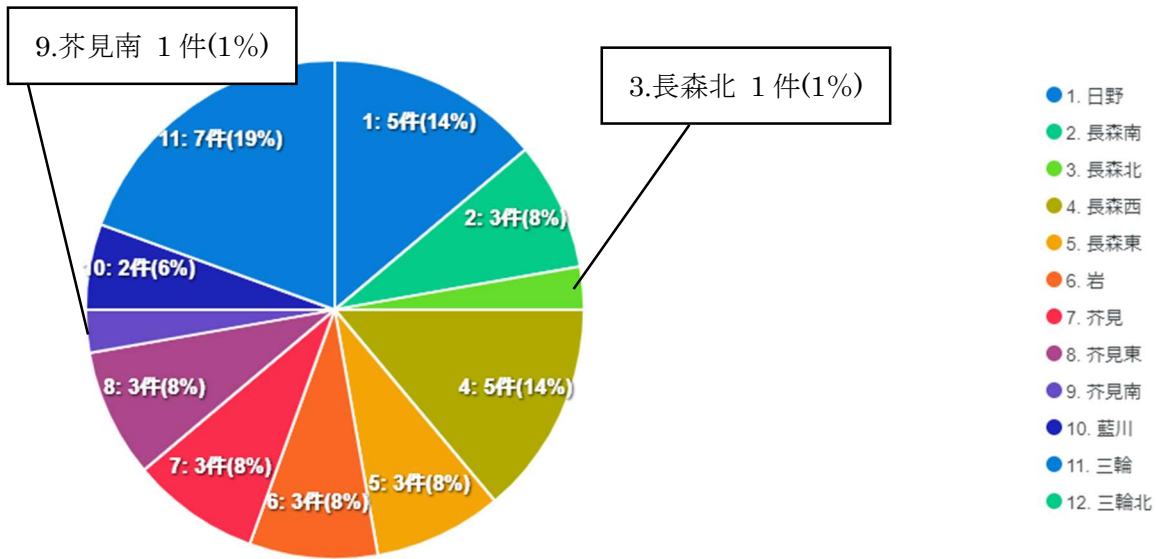
2. 北部



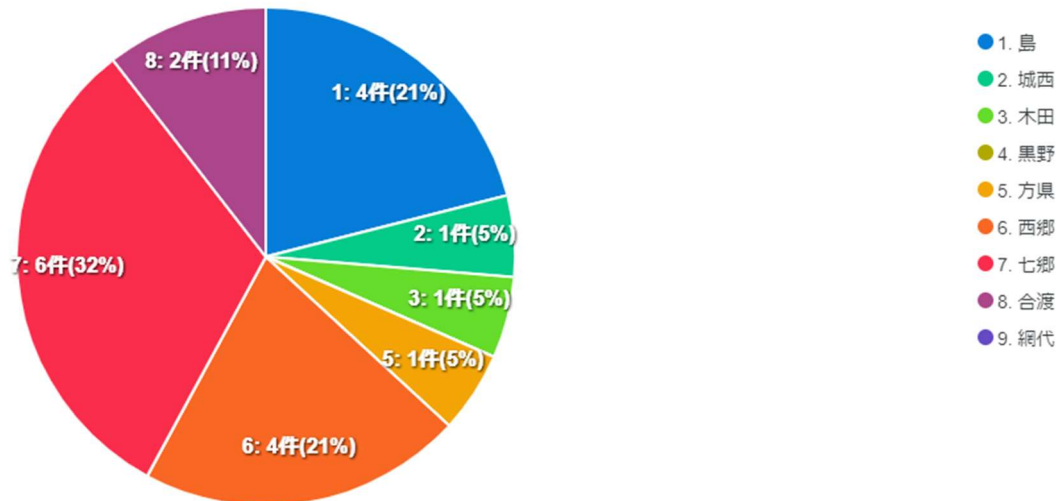
3. 南部



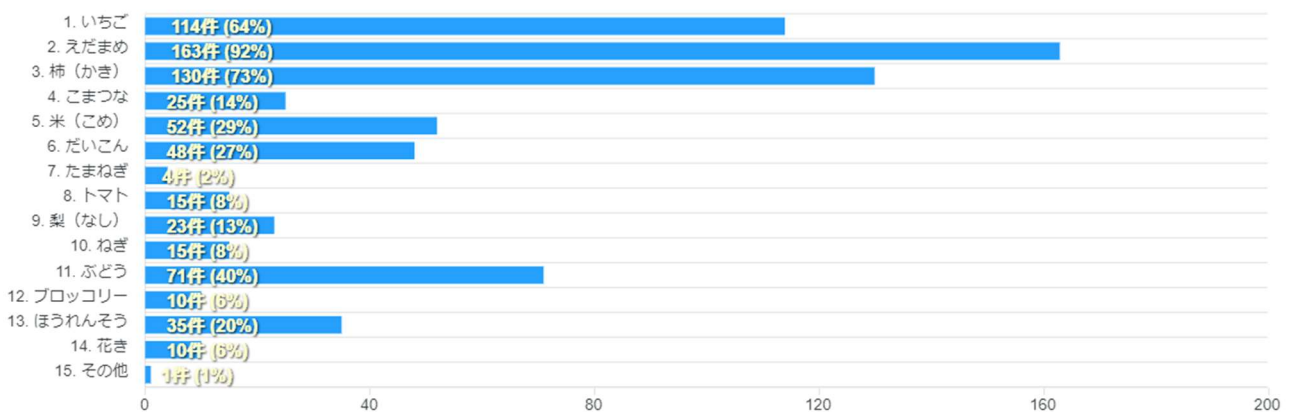
4. 東部



5. 西部



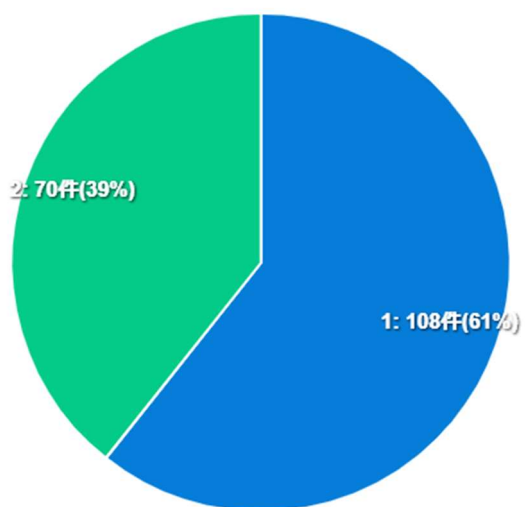
質問2. あなたの知っている岐阜市の特産農産物は何ですか？（複数回答）



■ その他<一部抜粋>

・ぶどう

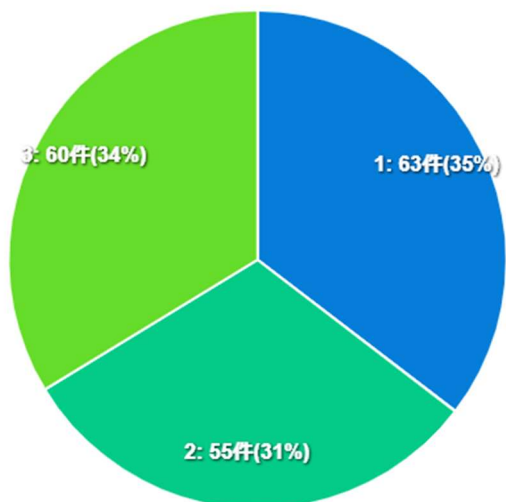
質問3. このマークを見たことがありますか？



- 1. ある
- 2. ない

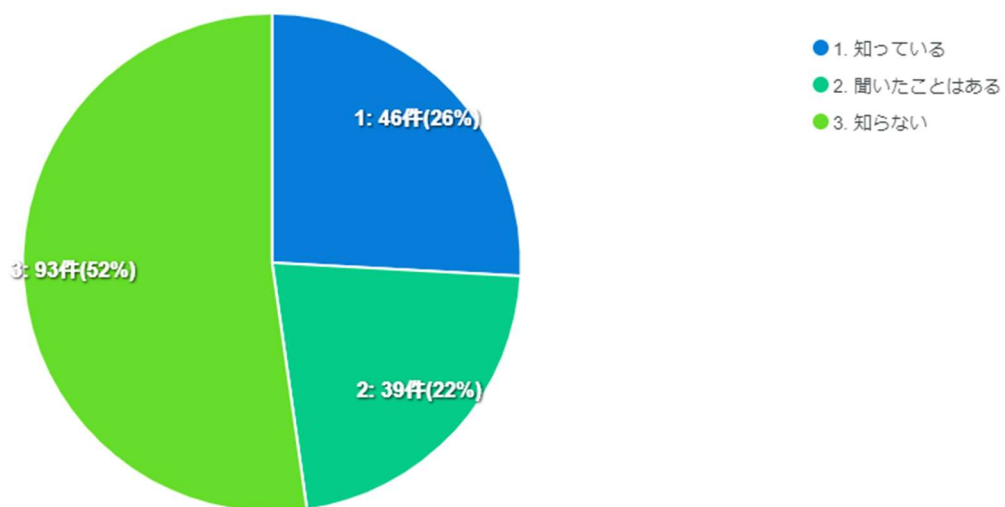


質問4. 本市で特産農産物を愛称「ぎふベジ」としてブランド化を進めていることを知っていますか？

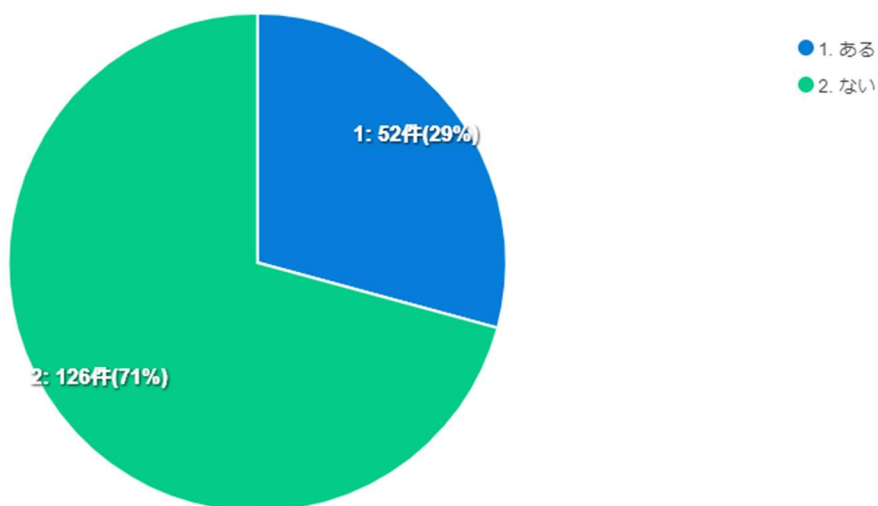


- 1. 知っている
- 2. 聞いたことはある
- 3. 知らない

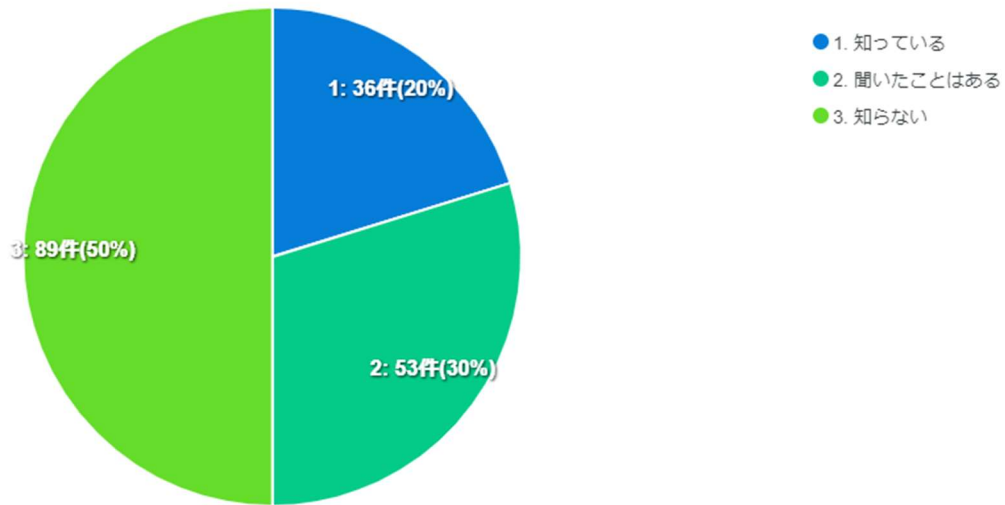
質問5. 岐阜市近郊の5市3町（岐阜市・羽島市・山県市・瑞穂市・本巣市・岐南町・笠松町・北方町）が連携して域内の特産農産物を「ぎふベジ」としてブランド化を進めていることを知っていましたか？



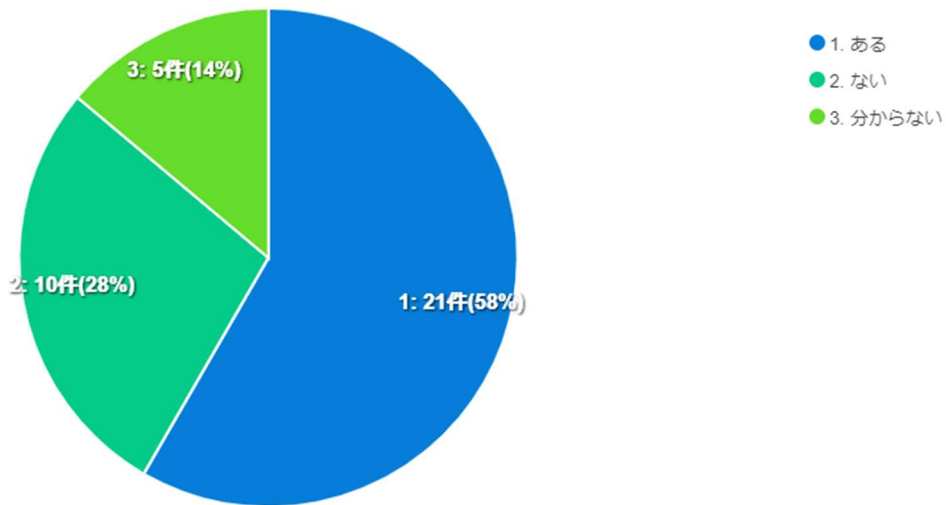
質問6. このマークを見たことがありますか？



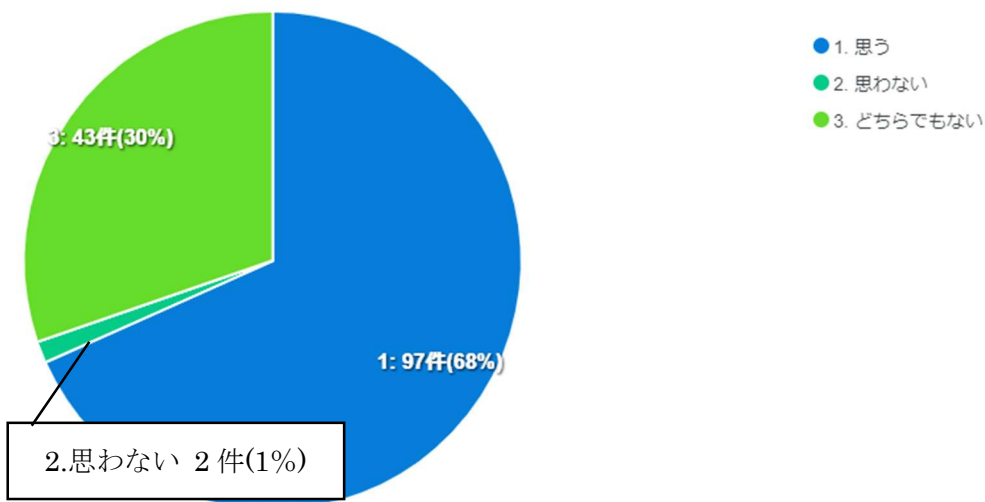
質問7. 本市では、近郊の5市3町（岐阜市・羽島市・山県市・瑞穂市・本巣市・岐南町・笠松町・北方町）が連携して、地元で生産された農産物などを積極的に取り扱う飲食店や販売店、食品加工所などをぎふ地産地消推進の店「ぎふ〜ど」として認定しています。そのことを知っていますか？



質問7-1. 質問7で「知っている」と回答した方にお聞きします。ぎふ地産地消推進の店「ぎふ〜ど」を利用したことはありますか？

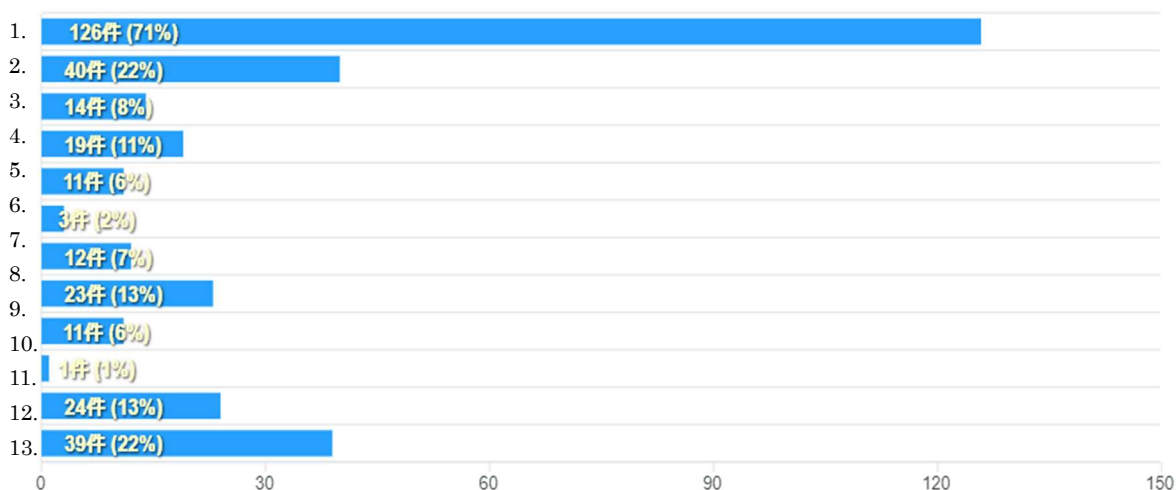


質問7-2. 質問7で「ない」もしくは「分からない」と回答した方にお聞きします。ぎふ地産地消推進の店「ぎふ〜ど」を利用したいと思えますか？



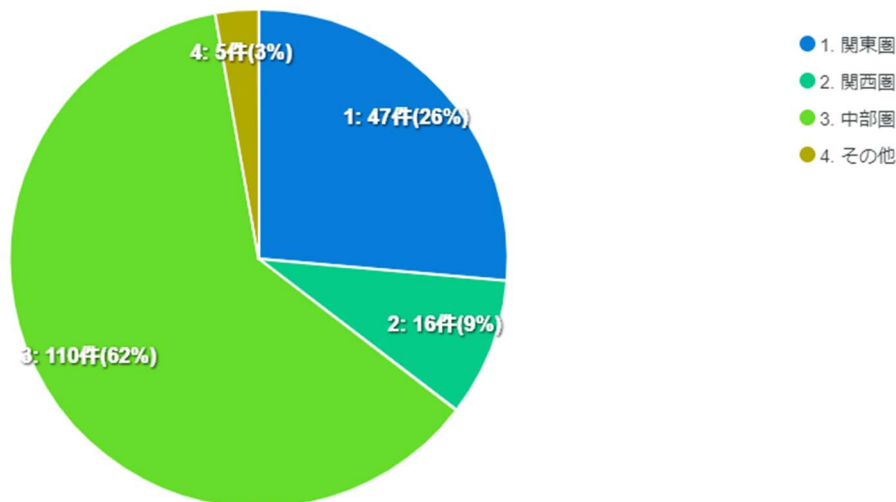
質問8. 本市が進めている地産地消または「ぎふベジ」のブランド化で知っている取り組みはありますか？（複数回答）

1. 岐阜市農業まつり
2. ぎふ地産地消推進の店「ぎふ〜ど」認定
3. ぎふベジ公式 WEB サイト (<https://gifuvege.jp/>)
4. ぎふベジイメージガール
5. ぎふベジ BOOK
6. ぎふベジ公式 Facebook
7. チャンネルCCN「ぎふわか」内番組コーナー「ちゃんちーとぎふベジおうちごはん」
8. イトーヨーカ堂柳津店（カラフルタウン岐阜内）とのぎふベジ連携PRイベント
9. ぎふベジ各種PRイベント（イトーヨーカ堂柳津店（カラフルタウン岐阜内）とのぎふベジ連携PR
10. イベント以外)
11. ぎふベジTV（PR動画をYouTubeで公開）
12. 岐阜駅北口駅前広場におけるタペストリーの掲出
13. 知らない



質問9.本市では、市外にも広く「ぎふベジ」を周知するため、地産外商イベント※を開催しています。地産外商イベントの開催地として良いと思う場所はどこですか？

※地産外商：市内で採れた農産物を市外に売り込む取組



■その他<一部抜粋>

- ・ 中近東
- ・ 北海道、沖縄
- ・ 岐阜県内
- ・ 税金の無駄遣いなのでやめるべき。
- ・ 九州などが良いと思う。

質問9-1. 質問9で回答した場所について、その理由を教えてください。(自由記述)

■関東圏<一部抜粋>

- ・ 都内は様々な地域出身の人が存在するので、日本全体に岐阜県をアピールできる。
- ・ 都市部で「ぎふベジ」を周知することで、観光振興や移住促進にもつながることを期待したい。
- ・ 母数が多い事で、興味や需要のある年齢層や性別、地域の特定を判別しやすい。
- ・ たくさんの人、色々な地方からの人が住んでいるため、同じことをやった時に多くの人目に留まり、何か注目された時に1番広がりやすそうだから。
- ・ 都会には新鮮な野菜に価値を感じる方が多いと思う。

■関西圏<一部抜粋>

- ・ 関西は近いので、岐阜市を知ってもらって、来てもらえそう。
- ・ 東京都内に岐阜のアンテナショップがあるのでPRできると思うが、関西は手薄だと思うため。
- ・ 関東と変わらない都市規模があるが、より近く親しみやすそうだから。
- ・ 大阪は天下の台所、そこで岐阜のうまさを広めたい。
- ・ えだまめ、だいこんなどが昔から関西に出荷されていて知名度が高く、地盤ができていると思うから。

■中部圏<一部抜粋>

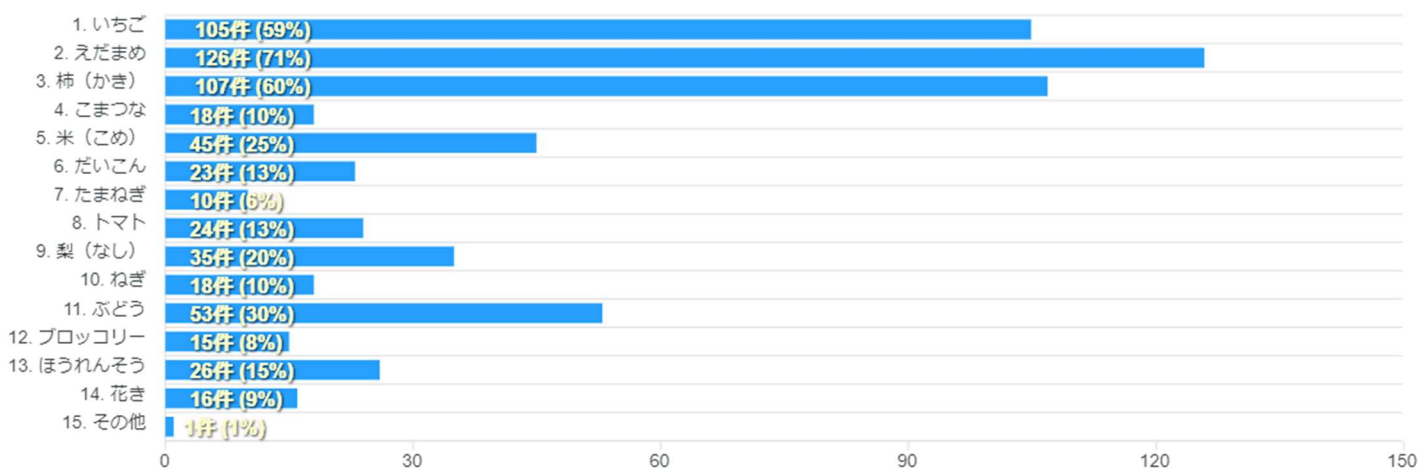
- ・ 中部圏は岐阜が近く、知っている人が多いから、より興味を持ってもらえると思う。

- ・ 関東や関西はその近辺に産地があるため、遠征しても、今の岐阜の農産物には特段特徴がみられないため、購入が増えると思えないため。
- ・ 岐阜市に近い地域から徐々に拡げていくのが活動しやすいと思ったから
- ・ 気に入ってくれた際に買いに来てもらいやすい距離感だから。
- ・ 運送費が掛からず、新鮮さを保てるから。

■その他<一部抜粋>

- ・ 県外に広める必要がないと考えるため。
- ・ あえてあまり岐阜を知らない地域で、特産物が被らない地域に売り出してみてもどうか。

質問9-2. 質問9-1で回答した場所で売り込むと良いと思う岐阜市の特産農産物は何ですか？(複数回答可)



■その他<一部抜粋>

- ・ 十六豆

質問9-3. 質問9-2で回答した特産農産物について、その理由を教えてください。(自由記述)

■いちご<一部抜粋>

- ・ 贈答としても喜ばれるから。
- ・ 好きな人が多いから。
- ・ 特産農産物だと私も認識しているから。
- ・ 濃姫など、名前に岐阜らしさがあるものがあるため。

■えだまめ<一部抜粋>

- ・ 枝豆が特産の場所は少ないと思うし、美味しいから。
- ・ 知名度が高いから。
- ・ お菓子やお料理など幅広く利用できるため。

■柿<一部抜粋>

- ・ 富有柿というブランドがあるため。
- ・ やっぱり柿が一番有名だと思うから。
- ・ 贈答品としても全国的に出荷されているから。

■ぶどう<一部抜粋>

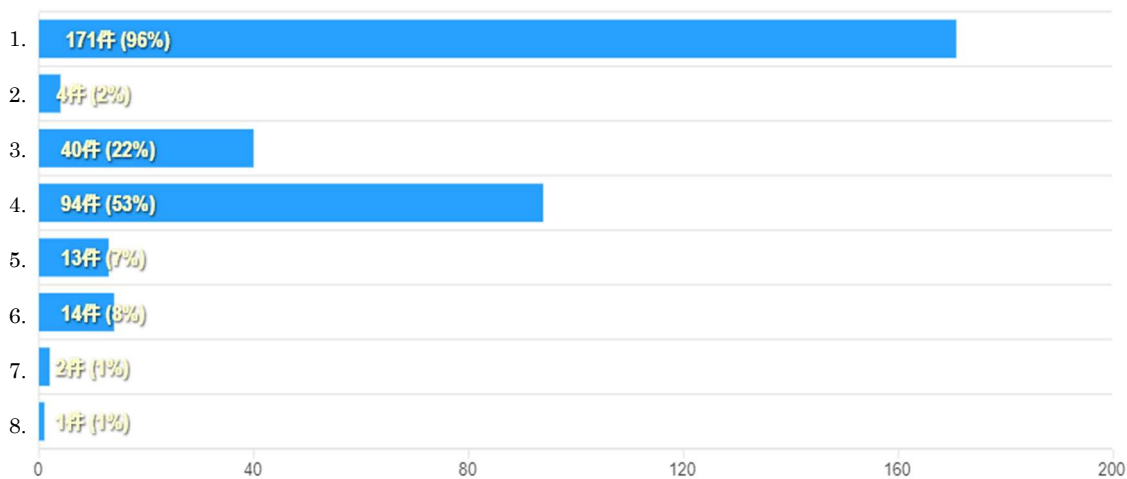
- ・ 土地の特色を生かし、先人が開拓した歴史があるから。
- ・ 長良ぶどうが有名だから。

■米<一部抜粋>

- ・ 岐阜の米ハツシモブランドをもっと多くの人に食べてほしい。
- ・ 岐阜の綺麗で豊富な水資源と広大な平野を思い描いてもらえれば、美味しいと理解してもらえやすいと思う。

質問10. 普段、農産物や食品をどちらで購入していますか？（複数回答可）

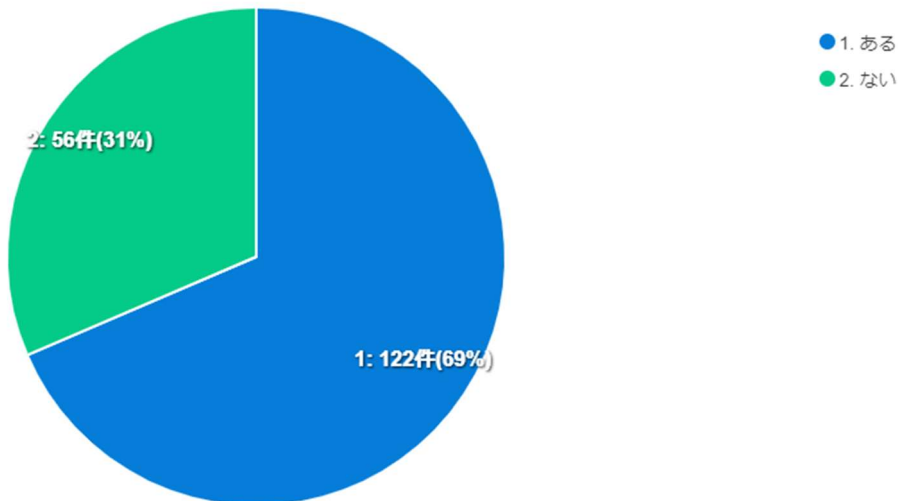
1. スーパーマーケット
2. コンビニエンスストア
3. ドラッグストア
4. 農産物直売所（おんさい広場・おんさい朝市等）
5. 農家庭先直売所
6. 定期食材宅配サービス（生協等）
7. 注文時食材宅配サービス（ネットスーパー、ネット通販等）
8. その他



■その他<一部抜粋>

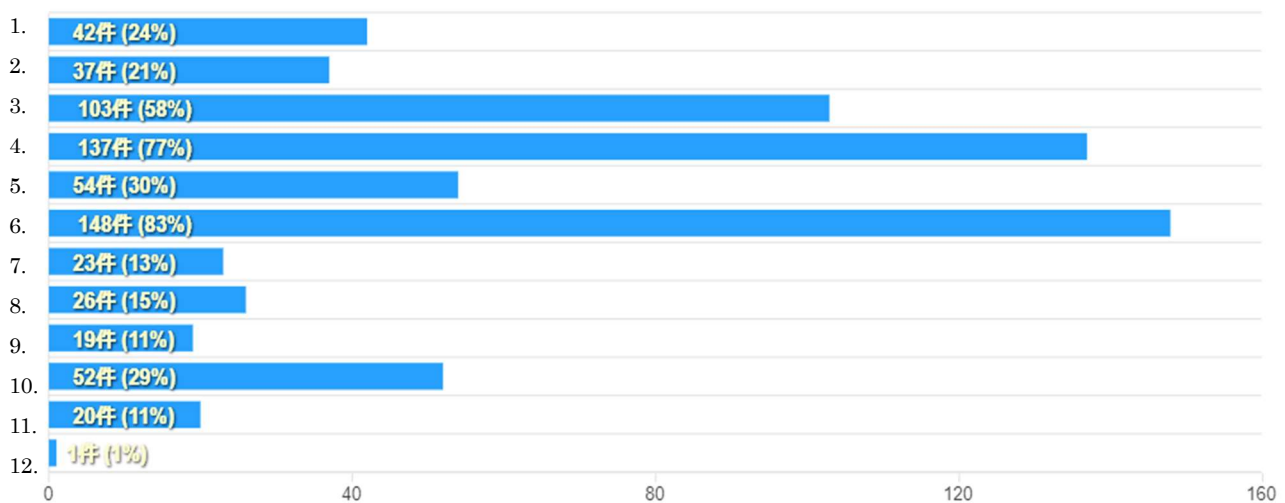
- ・ 自炊をしないため購入しない。

質問 1 1. 「ぎふベジ」(岐阜市近郊の 2 3 品目の特産農産物) を購入できる場所は近くにありますか？



質問 1 2. 農産物を購入する際に、重視していることは何ですか？(複数回答可)

1. 市内産
2. 域内産 (ぎふベジエリア)
3. 国産
4. 鮮度
5. 見た目
6. 価格
7. 無農薬
8. 減農薬
9. 有機野菜
10. 量 (適正)
11. 生産者
12. その他

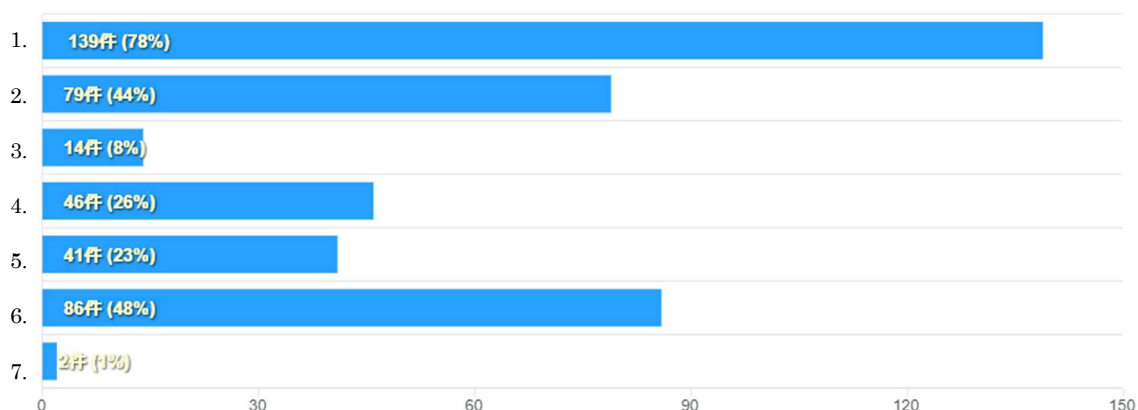


■ その他<一部抜粋>

- ・購入しない。

質問 1 3. 「ぎふベジ」のブランド化を進めるにあたって、何を重視すればいいと思いますか？（複数回答可）

1. 認知度が上がる
2. 消費量が増える
3. 商品の単価が上がる
4. 生産量が増える
5. 生産者が増える
6. 販路が拡大し、目につきやすくなる



質問 1 4. 「ぎふベジ」や「ぎふ〜ど」、地産地消に対する意見や要望など、ご自由にお書きください。

- ・ 多くの方々に知ってもらえるよう、積極的なPRを続けてほしい。
- ・ もっといろんな場所で見ると良い。
- ・ 自分たちの住む地域で生産された野菜を購入して消費することは良いことだと思う。
- ・ 地産地消は非常に重要であり、農業従事者が減少していく中では、消費者として地元を大切にしていける精神が大切。物価高ではあるが、安いからといって外国産の商品に走らない消費者の意識を持たせることが重要。
- ・ 今まで意識していなかったので、積極的に購入していきたい。
- ・ 鮮度もよく、価格もおさえられ、とても良い取り組みだと思う。生産者を知らなくても、同じ地域の方が作っていると思うととても親しみが持て、安心感がある。
- ・ スーパーなどでイベントが開催されていると、活気があるのでつい多く購入してしまう。とても新鮮なので美味しくいただいている。
- ・ 小学校に出向いて出前授業のような形でPRし、子どもがしっかり良さを理解できると良い。子どもの発言力は大きいので、家族と一緒にスーパーへ行ったとき「ぎふベジ買おう」と言われたら絶対買うと思う。

7 今後に向けて

ぎふベジに関する意識調査（問 1～問 14）

今回の調査結果から、本市の農業振興を図っていく上で、ぎふベジのブランド化、販路拡大・開拓の取り組みが有効であり、平成 27 年から継続している「ぎふベジブランド発信事業」の取り組みをさらに充実させていくことが重要であると考えております。

本市近郊の 5 市 3 町（ぎふベジエリア）での連携やぎふ地産地消推進の店「ぎふ〜ど」事業との連携を図ることで、皆様に認知され、地域内で消費される地産地消の取り組みを推進するよう努めてまいります。

お問い合わせ先

ぎふベジに関する意識調査（問 1～問 14）

経済部 農林課 TEL：058-214-2079／MAIL：nourin@city.gifu.gifu.jp